

高校入学者選抜における英検加点について

1 総 括

- すべての全日制高校において、英検3級以上を取得した生徒が受験している
- 3級以上取得者が62.8%（全国1位）となり、スピーキング力を高めるという所期の目的を達成
- 入試で4技能を評価することにより、中学校における4技能を伸ばす授業実践を後押し

2 結果分析

- 倍率1倍を超える高校の受験者は、3級以上取得者が多い
 - 学校ごとに受験者の取得級が類似
 - 加点制度により合否の変更は出現するが、その影響は限定的（合否の変更は7校13名で、1校最大3名）
 - ※出現した合否変更
 - 2級合格 → 3級不合格、 準2級合格 → 3級不合格
 - 準2級合格 → 級なし不合格、 3級合格 → 級なし不合格
 - 加点により英語の合計が100点に達した生徒は全員合格（7校18名）
 - 合格者のうち英語塾に通っていた者の割合 46.3%
 - 〃 英検対策のために塾に通っていた者の割合 15.1%
 - 〃 普通科、職業系ともに取得級が上位になるほど塾に通う割合が高い
- （参考）H29全国学力調査（4月18日実施）における調査結果
塾に通っている生徒の割合（英語以外も含む） 49.2%

3 見直しの考え方

- 通常の授業で行う4技能については、入試においても評価することが適当であることから、英検による加点は継続
- 今年度の入試結果分析から、英検加点の合否への影響は限定的であり、英語の成績（素点）と総合成績の相関も確認できたことから、加点幅については縮小

4 加点制度見直し（案）

○英検取得者が多い受験校の状況（受験者のうち、3級以上が7割超の学科）

No.	学科 (※1)	3級以上	準2級以上	3級以上の取得者の数が 試験定員(※2)を超過
1	A	98.8%	77.6%	○
2	B (国)	96.4%	42.7%	○
3	C	92.5%	14.2%	
4	D	90.3%	33.9%	○
5	E (国) (国)	87.5%	43.9%	○
6	F	87.1%	48.4%	○
7	G	83.0%	13.5%	
8	H	81.2%	15.7%	○
9	I	76.7%	13.3%	
10	J	75.9%	44.8%	
11	K	72.2%	5.6%	
12	L	71.8%	15.4%	○
13	M	71.1%	17.3%	
14	N	70.5%	1.6%	

(※1) 複数の学科をもつ学校は学科ごと、(国)は国際科等

(※2) 推薦合格者を除く一般入試の定員

○見直しに当たり、考慮すべき点

- ・英検加点により合格となった生徒（7校13名）はいずれも、ボーダーからの点数差が5点以内である。
- ・本県では、現中3生の23%が既に3級を取得している。

案1 2級への15点加点を廃止し、準2級以上について10点、3級に5点を加点。

案2 原則、3級以上に5点を加点。ただし、これに代えて、学校によっては準2級以上へ加点する。準2級以上への加点を行う学校は、平成30年度入試において、3級以上が8割を超え、かつ準2級以上が4割を超える学校、または、国際科等で高いスピーキング力を持つ生徒を求める学校とし、県教育委員会と協議して決定する。

案3 3級以上について一律5点を加点。

【参考】

・案1～3のいずれも、上限は100点とする。(平成30年度入試と同じ)
参考

○英検取得者の学校別取得割合状況

No.	3級以上	準2級以上
1	98.8%	77.6%
2	96.4%	42.7%
3	91.8%	20.4%
4	86.0%	41.2%
5	83.0%	13.5%
6	81.2%	15.7%
7	68.8%	15.6%
8	66.2%	3.1%
9	65.3%	13.4%
10	65.2%	18.3%
11	65.1%	12.0%
12	56.2%	7.6%
13	54.6%	3.6%
14	40.0%	5.5%
15	39.9%	3.8%
16	35.6%	3.4%
17	34.9%	1.3%
18	27.8%	0.0%
19	25.4%	0.0%
20	24.6%	0.7%
21	18.9%	0.9%
22	17.9%	0.0%
23	17.3%	1.5%
24	17.0%	0.0%
25	12.8%	0.8%
26	5.8%	0.6%

○中学3年生において、英検3級以上相当の英語力を有する生徒の割合

福井県 62.8% (全国1位) 全国平均 40.7%

出典：平成29年度「英語教育実施状況調査」